



秋田市
秋田市

社協だより

No.64
平成30年1月



ホームページでも
ご覧になれます

秋田市社協

検索



CONTENT

2. 平成29年秋田県大雨災害
秋田市ボランティアセンターの活動報告
3. 秋田市共同募金委員会
からのお知らせ
4. 平成29年度
秋田市社会福祉大会
5. 平成29年度
地域福祉活動合同研修会
6. 除雪に関するお問い合わせ
教育支援資金貸付のご案内
7. まごころページ
市社協特別会員・団体会員について
企業・法人会員のご紹介
8. 救急医療情報キット事業



秋田市介護支援ボランティア研修会 伊藤 晴美先生による「笑いヨガ講座」でのひとコマ



情報のあるべき姿

秋田市社会福祉協議会
会長 野口 良孝

新年 あけましておめでとうございます。

旧年中は、本会へご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、昨年の出来事を振り返ると、7月下旬の記録的大雨による災害支援が思い浮かびます。災害支援に駆けつけていただきましたボランティアのみなさまには心から感謝申しあげます。

また、地区社協や民生委員、町内会等の方々から情報をいただき、災害支援に役立たせていただきました。ご協力ありがとうございました。

このたびの災害をうけまして、災害時により早い情報

把握の仕組みづくりが大事なポイントであり、喫緊の課題であることを感じました。

情報に関して、最近ではインターネットやスマートフォンなどを利用し、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)で知ることができるようです。

SNSは、現地から直ちに伝えたい内容や画像等を大勢に情報を伝えることができる特性があります。しかしながら、その情報の正確性、信ぴょう性に欠けることも事実です。

本会では、大雨被害のあった世帯周辺を、社協職員とボランティアの方で1件ずつ訪問し、不安や困りごとなどの状況をお伺いすることができました。

このように情報は、迅速かつ正確に把握して発信することが大事であり、草の根的活動と新しい機能を融合した仕組みづくりが必要です。

本会は、日ごろの地区社協や民生委員、福祉協力員や町内会等の地域福祉関係者のみなさまの情報と共に地域のみなさまと、顔と顔が見える関係を築くことが一人一人の幸せにつながるものと考えております。そして、こうした思いを掲げ、今年も一日一日大切に歩んでまいります。



この「社協だより」は、共同募金の助成金を一部活用し発行しております。

平成29年秋田県大雨災害

秋田市ボランティアセンターの活動報告

7月22日からの記録的な大雨により、秋田市でも大住地区、雄和地区を中心に床上・床下浸水あわせて500棟以上の被害が発生しました。秋田市ボランティアセンターでは、たくさんのボランティアや関係機関・団体等からご協力をいただき、一日も早い復興・復旧に向け被災世帯への支援活動を行いました。



【ボランティア依頼件数 85件】

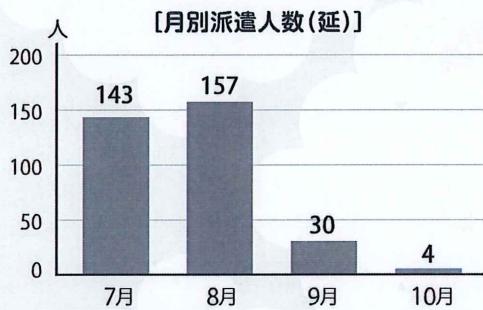
ボランティアの協力も得て、被災地域にチラシを配りながら困りごとを聞き取りました。

その結果、室内の片付けや家具の運び出しなど多くの依頼が寄せられました。

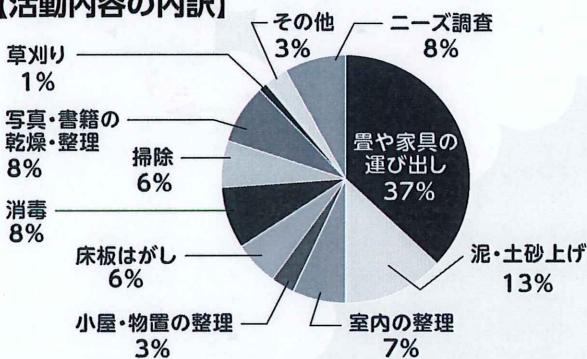


秋田パドラーによるニーズ調査(平成29年7月29日)

【ボランティア派遣人数(延) 334名】



【活動内容の内訳】



被災直後は畠や家具の運び出しのニーズがメインでしたが、9月以降は消毒など衛生面の問題、健康面のニーズへ変化しました。被災者のニーズは刻々と変化するため柔軟な対応が必要となりました。

また、地域住民から被災情報を提供していただいたケースもあり、地域の支え合う力がとても重要であると感じました。

ご協力いただきましたボランティア個人・団体、社協関係者の皆さんに心よりお礼申しあげます

(敬称略、順不同)

ボランティア団体 22団体

ボランティア個人 78名

- ◎非営利活動団体 sora+umi ◎ジェグルズ ◎あおぞらこども園 ◎ゆりはか ◎真如苑SeRV
- ◎秋田ノーザンブレッツ ◎NPO法人東日本大震災復興委員会 ◎秋田青年会議所 ◎北都銀行
- ◎特定非営利活動法人秋田パドラー ◎秋田市役所野球部 ◎秋田市役所フェンシング部
- ◎秋田県心身障害者コロニー ◎中央地区老人福祉中央エリア ◎石油資源開発株式会社
- ◎秋田県曹洞宗青年会 ◎ホンダカーズあきた ◎国際石油開発帝石株式会社 ◎日本赤十字秋田短期大学
- ◎国際教養大学 ◎秋田市建設業協会 青年会 ◎社会福祉法人 雄和福祉会

社協関係者等 14名

- ◎災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)
- ◎由利本荘市社協 ◎五城目町社協 ◎八郎潟町社協
- ◎潟上市社協 ◎秋田県社協

物品寄付等

- ◎岐阜県中津川市 ◎宗教法人天理教 ◎ミドリ安全株式会社
- ◎株式会社秋田ケーブルテレビ ◎株式会社とみや
- ◎コープ東北コープフードバンク ◎一般社団法人フードバンクあきた
- ◎国立研究開発法人防災科学技術研究所 ◎個人3名

このほか、北秋田市社協より作業用資材を拝借いたしました。





赤い羽根共同募金

秋田市共同募金委員会からのお知らせ



平成29年度赤い羽根 共同募金へのご協力 ありがとうございました!!

秋田市共同募金委員会 会長 藤澤 浩

新年、明けましておめでとうございます。平成29年度の募金活動に多大なお力添えをいただいた、市内各地区共同募金委員会、町内会、学校、事業所、各種団体のみなさまにあらためて心からお礼を申し上げます。

(災害支援について)



赤い羽根共同募金の一部は、災害準備金に充当されております。平成29年7月、8月の大雨災害では、秋田市ボランティアセンターへも助成があり、その助成金を活用してボランティア活動が行われました。また、床上浸水の被害を受けた世帯に対し、見舞金も交付されました。

災害準備金とはみなさまからいただいた募金の一部を、大きな災害が発生したときの被災者を支援する活動のための資金として、各都道府県にある共同募金会が積み立てているものです。

災害時においては義援金のイメージが強いですが、このように災害を支援する活動へも助成され、この災害準備金のおかげで迅速な災害支援活動が行われています。

(街頭募金)



街頭募金の様子



10月2、3、4日に各地区共同募金委員会および各種団体のみなさまと、さらに12日には今回で4回目となるH.O.G(ハーレー・オーナーズ・グループ)秋田チャプターのみなさまと秋田駅前周辺にて街頭募金を行いました。多くの方々からご協力をいただき、ありがとうございました。



H.O.G.秋田チャプターのみなさま

(平成28年度赤い羽根共同募金のご報告)

昨年度の秋田市の赤い羽根共同募金の実績は、**44,312,447円**でした。

みなさまからいただいた募金は、社会福祉協議会が行う地域福祉活動事業や、福祉施設の整備、団体や各地区での福祉活動に助成されています。

募金の詳細については赤い羽根データベース
「はねっと」で検索してご覧ください。→→→

はねっと

検索



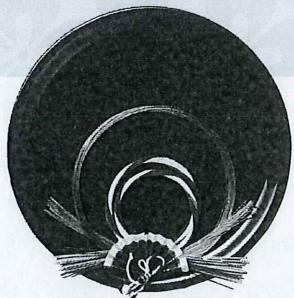
秋田市共同募金委員会(秋田市社会福祉協議会内) 秋田市八橋南一丁目8-2 TEL 862-7445

❖ 平成29年度 ❖

秋田市社会福祉大会

広げよう 命を守る 地域の絆

■ 平成29年10月13日(金) ■ 秋田市文化会館 大ホール 参加者600名



本大会では、社会福祉事業の推進に貢献された功労者2団体と個人25名に表彰状や感謝状が贈られました。また、「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」の実現に向けて、高齢者や障がい者、子育て家族などの社会的孤立予防と小地域での安全・安心の確保、更には地域包括ケアに向けた地域住民やボランティアによるたすけあいの仕組みづくりの推進などの大会宣言を採択しました。

表彰

平成29年度社会福祉功労者 (敬称略、順不同)

◆ 本会の運営・改善・向上に特に功績のあった方

ソニー生命保険株式会社・秋田精工株式会社 代表取締役 須田浩生

◆ 長年地区社会福祉協議会役員として社会福祉事業の推進に貢献された方

伊藤良太郎・加藤昭一・山本郁子・高橋重道・平野貢則・船木新悦・金山明美
中村伸子・武内仁・片桐登司夫

◆ 地区社会福祉協議会活動を通して地域福祉向上に長年尽力された方

西村栄子・岩谷洋子・金峯子・鈴木セイ子・本間光雄・久保市シゲ子
岩崎照雄・佐々木幹男・船木ひとみ

◆ 長年にわたり家庭においてご家族の介護に尽力された方

田代儀輝

感謝状

◆ 長年にわたり本会の事業推進に多大な貢献をされた方

高橋良慥・菅原雄一郎・高橋満男

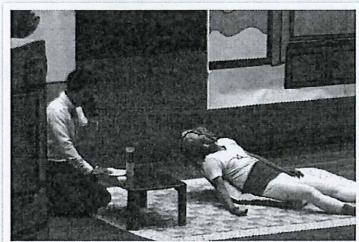
◆ 長年にわたり民生委員・児童委員として地域福祉活動に尽力された方

柴田紀子・三浦喜美子

デモンストレーション

もしもの時の救世主!「安心キット」

秋田市
消防本部
職員による
デモンスト
レーション



講演

「救急医療、在宅医療から見た 地域包括システム」 ほぼ在宅、ときどき入院、を目指して

— みんなが主役、
地域包括システム —

医療法人社団 親樹会
恵泉クリニック
顧問 太田祥一 氏



平成29年度

地域福祉活動合同研修会

～民生委員・児童委員と
地域福祉活動の関わり～

- ◎ 平成29年7月7日(金)
- ◎ 秋田市文化会館 大ホール 参加者600名

本研修会には、地区社会福祉協議会・地区民生児童委員協議会・町内会長・福祉協力員・福祉に関心のある市民約600名が参加されました。

本年は、民生児童委員制度設立100周年ということもあり、発表者には各地区で取り組んでおられる民生児童委員と地区社協のつながり、地域福祉との関わりについて、それぞれの特色ある取り組みを紹介していただきました。「地域が地域の力で困り事を発掘し解決に向けて協力してゆく地域力」の重要性を改めて感じた研修会となりました。



研修会場の様子

講 演

「地域で支えること」
を考える



八戸学院大学 健康医療人間学科

教授 赤羽 卓朗 氏

成年後見制度の実例を交えながら、「住民主体の課題解決・包括的な相談支援体制の確立が求められている。この実現には、地域福祉活動を行う地区社協や民生委員、福祉協力員等の力、そして地域の社会資源であるボランティア、PTA、老人クラブ、子ども会、NPO等との連携が重要」とお話し頂きました。

事例発表 1

桜地区民生
児童委員協議会の
取り組みについて



桜地区民生児童委員協議会

会長 佐々木 晋太郎 氏

見守りネットワーク活動での「見守りが必要な人」さがしのポイントの紹介の他、安心キットや子育て支援事業として地区社協と民児協と共同で取り組んでいる「さくらっこクラブ」等の取り組み事例を紹介していただきました。

また、地区社協の課題として町内会長の交代時の引き継ぎの難しさなどの話があり、会場からは共感の声が聴かれました。

事例発表 2

飯島地区
社会福祉協議会の
取り組みについて



飯島地区社会福祉協議会

会長 長谷川 瑞子 氏

見守りネットワーク事業の一環として、ティッシュ・ふれあい弁当の配布、健康づくり・生きがいづくり、地域サロン、敬老会事業、子育て支援事業、広報誌の発行など様々な取り組みについて事例発表を行っていただきました。会場からは、これだけ多くの事業を行う飯島地区社協の組織体制について聴いてみたいといった声がありました。



除雪

に関するお問い合わせ

【お問い合わせ・お申込み】

○秋田市社会福祉協議会 / TEL 862-7445 FAX 863-6068
○秋田市ボランティアセンター / TEL 862-9774 FAX 863-6068
Mail / vc@akita-city-shakyo.jp

スマホ、タブレットからも
内容を確認できます



秋田市社協除雪

検索

除雪ボランティアをお願いしたい方へ



対象

高齢者のみの世帯、障がい者の方がいる世帯で、次の①～③のすべてに該当する方

- ①自力で除雪できない
- ②市内に親子・兄弟などがない
- ③業者への除雪依頼が経済的に困難である

次の場合に
派遣します

- ◎ガスボンベ、ストーブの排気口が雪で覆われて危険な場合
- ◎積雪で窓ガラスが割れそうな場合 ◎その他、降雪により危険な場合

除雪ボランティアに参加いただける方へ



秋田市ボランティアセンターでは、個人、団体、企業で除雪活動に参加してくださる方を募集しています。

活動期間 12月下旬から3月上旬を予定

*降雪・積雪状況、ボランティアの登録状況により
活動機会がない場合もありますのでご了承下さい。

活動時間

1時間から2時間程度

(移動時間を除く)



持ち物 防寒具、手袋、長靴、着替え、飲み物、タオル

(スコップ等の道具は秋田市ボランティアセンターで用意しますが、使い慣れた道具をご持参いただいても構いません)

活動の流れ

① 秋田市ボランティアセンターに電話・FAX・メール等で登録します。
(氏名・住所・電話番号等)
※登録申込書は、ホームページからもダウンロードできます。

② 秋田市社会福祉協議会に除雪依頼の相談があった時、登録された連絡先へ連絡をします。

③ 除雪活動の日程や場所をお知らせしますので、参加できるかお返事ください。

④ 除雪ボランティアへ登録されるみなさんはボランティア活動保険に加入していただきます。
掛金は、秋田市ボランティアセンターで負担します。自己負担はありません。

除雪機・用具を貸出いたします

用具をはじめ、除雪機や除雪機を運搬する車両などボランティアを行う方のために、さまざまな除雪用品を用意しております。



ボランティア保険の掛金を補助いたします

秋田市ボランティアセンターでは、町内会で除雪活動を行う際に加入するボランティア保険の掛金を「1町内につき、年度内1回限り全額補助」します!

※お申込みの際は、活動日前日の午前中まで(土日、祝日の場合はその前日まで)

高校・大学等へ進学予定の方・在学中の方 教育支援資金貸付のご案内

秋田市社会福祉協議会では次のような世帯を対象とした高校・短大・大学等で必要な教育支援資金の受付業務を行っています。

【対象】

- ◎低所得世帯(銀行、日本政策金融公庫等から借り入れが困難である方)
- ◎奨学金制度(日本学生支援機構、秋田県育英会等)に該当しない方(該当しても申請できる場合があります)
※母子家庭、父子家庭及び寡婦の方は秋田市子ども総務課の「母子父子寡婦福祉資金貸付」が優先となります。



【申請の場合、下記の書類が必要です】

- ①合格(入学)証明書、在学中は在学証明書
- ②借入する金額がわかる書類等(学校に係る経費が記載されたもの)
※なお、受験票または願書でも事前に申込みはできます。

【申請について】

借入申込者はお子様となりますので、連帯借受人(収入のある親権者)が1名必要です。



【お問い合わせ・お申込み】

秋田市社会福祉協議会
生活福祉資金担当
TEL 862-7445

地区へのまごころ 〈平成28年11月1日～平成29年10月31日〉

(敬称略、順不同)



香典返し

- 【築山地区】鈴木雄太郎・佐藤幹夫
【泉地区】高橋知子・荒川孝子・石田和敬
【川尻地区】下田銀一郎・相場善治
阿部民子
【牛島地区】佐藤富夫
【大住地区】石塚真平
【土崎地区】佐々木阿貴子・武田静子
【寺内地区】小野郁美
【新屋勝平地区】大野一男・宇佐美克朗
【豊岩地区】佐藤朝雄・伊藤千代子

- 【下浜地区】細部吉光・深井徹・今野正人・渡邊伸吾
福井正人・柴田文男・長谷川トミエ

- 【飯島地区】小玉美津夫・保坂慶正

- 【四ツ小屋・御野場地区】熊地妙子・安田世江子
【上北手地区】田子多津子・浅利薰子・鎌田悦雄・京野長一
鈴木信子・飛田適・澤田石京子

- 【桜小地区】菅原寿子・佐藤志保子

- 【雄和地区】安藤功毅・岡部久伸・檜山次雄・吉田新一・高橋禪
佐々木俊紀・工藤泰嗣・佐々木真悟・長谷川誠
金實・安藤悦朗・佐藤カツ子・齊藤昭則・伊藤孫道
長谷川新太郎・齊藤勝隆・伊藤雅博・長沼謙悦
北瀬愛・石井成・那須新一・鎌田金悦

篤志寄付

- 【明徳地区】栗原玲子
【牛島地区】工藤タカ

- 【築山地区】加藤俊悦・神田武・高桑博・佐藤政子

- 【雄和地区】嘉藤多吉郎・迷小路溝板・旧雄和町職員有志一同
フラワーアレンジメントを楽しむ会

市社協へのまごころ 〈平成28年11月26日～平成29年11月30日〉

(敬称略、順不同)



香典返し

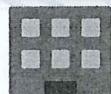
- 二木満・佐々木京子・三浦笑美子

篤志寄付

- 秋田市PTA連合会・秋田長生大学・瀧の会・東部ガス(株)秋田支社
(宗)真如苑秋田支部・協和石油(株)・恵たまえ・秋田市グラウンドゴルフ協会
築山小学校児童会・あづさ愛・齊藤涼子・(一財)秋田市体育協会・木村美恵子・鈴木由紀子
センタースマツリ実行委員会・工藤重一・田口哲夫・桜雅会・ウェスターまつり実行委員会・佐藤絵里
堀部正一・佐藤實

物品寄付

- (株)東北フジクラ・(株)くまがい印刷・寺内小学区社会福祉協議会
石油資源開発(株)国内事業本部秋田鉱業所・今田正友・(株)マルハン外旭川店
加藤俊悦・(株)ダイナム・(公財)秋田市総合振興公社・石井晴美・ソニー生命保険(株)・黒沢清直・石塚真平
羽沢義昭・藤原民子・三浦笑美子・石井友子・木村智子・秋田市母子寡婦福祉連合会夢クラブ
下山節子・柳町町内会女性部



市社協特別会員・団体会員を募集しています



秋田市社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」を基本方針として、市民のみなさまの福祉の充実のため活動しております。つきましては、本会の活動や事業にご賛同いただける特別会員・団体会員を募集しておりますので、何とぞご協力いただきたくお願い申しあげます。なお、いただいた会費につきましては、地域福祉を推進するための様々な活動に役立てさせていただきます。

また、秋田市内の全世帯に一般会員会費のご協力ををお願いしていますが、上記の趣旨にご理解・ご支持をいただきたいというものであって、強制ではありません。

企業・法人の団体会員 (敬称略、順不同)

秋田市社会福祉協議会団体会員(企業・法人)として、地域福祉を応援していただいているみなさまをご紹介いたします。

会員の区分	会費(年額)
特別会員	個人 1口 1,000円
団体会員	社会福祉事業施設、団体 1口 2,000円
	企業・法人 1口 10,000円

【お問い合わせ・お申込み】

秋田市社会福祉協議会 総務管理課

TEL 862-7445

※平成29年12月1日現在、32社が会員となっております。なお、社名掲載についてはご承認いただいた企業・法人のみを掲載させていただきました。



救急医療情報キット事業

「安心キット」についてのお知らせ

お問い合わせ
お申込み

◎社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会
TEL.862-7445 FAX.863-6068

安心キット 秋田市社協

スマホ、タブレット
からも内容を
確認できます



検索

このような時に活用されました!

[情報提供]秋田市消防本部 救急課

- ◎高齢女性が自宅階段から誤って転落し、頭部・腰部等に傷を受ける。同居の家族から提供され活用。
- ◎一人暮らし高齢者宅。別居している家族が家を訪れたところ、居間で倒れている傷病者を発見。(脳卒中疑い)
- ◎個人情報収集のため使用。

これまで
128件
使用された実績が
あります!

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	累計
活用件数	1	28	16	30	17	28	8	128

※平成22年度より事業が実施されました。



平成29年7・8月の大雨災害においても「安心キット」が活躍

「自宅が床上浸水し消防隊員に救助され、着の身着のまま避難所へ移動したため、毎日服用していた薬を持ち出せなかった。しかし、冷蔵庫に安心キットを保管していたことを消防団員に伝えることで、安心キットの中に保管している安心カードから薬の情報を入手し、病院に手配して届けてもらうことができた。」という出来事が新聞で紹介され、救急のみならず災害時においても、活用されました。

秋田市社会福祉協議会は、
持病やかかりつけ医などを記載した
安心カードを用意して、地域の高齢者
を取り扱う家庭に沿せる「安心医療
情報キット」(安心キット)を販売して
います。運営者がそれを入手する
のに役立ち、利便性が見直さ
れていました。

「安心キット」備えて

秋田市社協 普及に力



持病や服用薬記載しケースに
大雨で利便性再評価

平成29年10月25日 秋田魁新報社提供



冷蔵庫の中で保管することが難しい方へ

安心キット容器にひもをくくりつけるなどして、冷蔵庫の側面にマグネット付フックなどでぶらさげても大丈夫です。安心キットの中には個人情報が入るので、取扱いにご注意ください。※ひもやマグネット付フックなどは、各自でご用意してください。

安心キットはご利用を希望するみなさんに無料で配布しています。
設置を希望される方は、お住まいの地域の地区社会福祉協議会または、
地区担当民生委員などへご相談ください。



皆様の声
をお寄せください



送付先

【宛先】 〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8-2 秋田市社会福祉協議会 地域福祉課
【TEL】 862-7445 【FAX】 863-6068

秋田県の高齢化率が35%を超えました。また、昨今では少子化も問題となっています。市民の皆様から秋田市社会福祉協議会へ「こんな工夫や配慮があったら…」などの声がありましたら、下記までお寄せください。今後の地域福祉活動の参考にさせていただきます。また、今読んでいただいている「社協だより」についてのご意見等をぜひお寄せください。

秋田市社会福祉協議会案内図



TEL.862-7445 FAX.863-6068

〒010-0976
秋田市八橋南一丁目8-2

河辺事務所案内図



TEL.881-1205 FAX.882-3467

〒019-2625
秋田市河辺北野田高屋宇上前田表 66-1

雄和事務所案内図



TEL.886-5071 FAX.886-5077

〒010-1223
秋田市雄和妙法字上大部 77-1

編集後記

「情けは人の為ならず」ということわざがあります。多くの方はこのことわざを知っていると思いますが、意味を間違えて覚えている人が多いようです。言葉だけ聞くと「情けをかけるのはその人のためにならない」と解釈してしまいがちですが、実際は「人に親切にするとめぐりめぐって自分に返ってくる」という意味があります。7月、8月に発生した大雨災害時に、普段から自らもボランティア活動を行っている方で、今回の水害に見舞われた方から「今まででは人を助ける側だったが、今回は自分が助けられる側になった。ボランティアや地域の方から復旧の手伝いをしていただき助かった」という言葉をいただき、このことわざが頭に浮かびました。人ととの縁を感じることができました。